

2013 年 7 月 4 日（木）～7 日（日）

## 礼文島花ウォーキングと利尻山登山

～7 月 4 日（木）羽田・稚内・香深～ レポート by 能勢

今回は、3 泊 4 日で花の浮島 礼文島の花ウォーキングと日本百名山にも選ばれた利尻山登山を企画、吉松さん、高橋(雄)さん、川島さん、布目さん、小山さん、小野寺さん、能勢夫妻が参加し、8 名の大パーティとなった。



それぞれ利尻山登頂の期待と一日で標高差 1500m を登る不安を抱え、10:00 に羽田空港 第 2 ターミナルに集合。予約してくれた吉松さんから航空券を受取りチェックイン。



11:00 発 ANA571 便に搭乗、ほぼ満席の状態であった。

稚内空港（写真右手前）着陸前に、めざす利尻島（上中央奥）と礼文島（上右奥）がうっすらと見えた。



稚内空港に定刻の 12:55 に到着、ゴマフアザラシが出迎えてくれた。



稚内から礼文島・香深行きのフェリーは乗り継ぎが悪く 3 時間待ちになる。宗谷岬に行きたいところだが、時間に余裕がなく、しかもフェリーが最終便、そこでリスクを避け、観光案内所のお勧めで 1 時間半のジャンボタクシーでの市内観光となった。8 人で 7900 円はお得感がある。



稚内公園にある「開基百年塔・北方記念館」海拔 240m の展望台からは、稚内市内や、利尻礼文、サハリンまで一望出来るようだ。



稚内公園で参加者 8 人が勢揃い！





「九人の乙女の碑」

‘45 年 8 月、旧ソ連軍の侵攻により自ら命を絶った真岡郵便局の 9 人の女性交換手の慰霊碑です。



樺太島民慰霊の碑「氷雪の門」

樺太で亡くなった人々の慰霊のために 1963 年に建立されたそうです。



稚内公園に咲くアルメリアの花



漢字表示で「野寒布岬」  
うっすらと後ろに利尻島、礼文島が  
見え隠れしていた。  
残念ながらサハリンは見えなかった。



山頂には雲がかかっているが、遠く海  
上に利尻山が見える。



イルカのモニュメントと稚内灯台、  
紅白のストライプは、北海道では雪の  
白さで灯台が舟から見えにくくなら  
ないように配慮されているようだ。





「稚内港北防波堤ドーム」

‘63 年波よけように建設された全長 427m、高さ 13.6m、70 本の円柱が連なる半アーチ型ドーム、古代ローマを思わせる構造物である。



「稚泊航路記念碑」ちはくと読む。  
1945 年の終戦まで日本領だったサハリンへ連絡船が就航していたようだ。



稚内港北防波堤ドーム前で、ほほ笑む女性 5 人。  
ここに鉄道の引き込み線があったようで、その車輪が展示されていた。



一日に3便しかなく、本日の最終便・  
稚内16:15発のフェリーに乗込んだ。  
2等は、ほぼ満席、良い席が取れず、  
早速、デッキに出てビールを一杯。



川島さんの船酔いも治まり元気に手を  
振る。



頂上の雲は切れないが、利尻富士が  
ハッキリ見えてきた。



能勢(邦)さん、布目さんは、何を指差し  
しているのか・・・





稚内からフェリーで約 2 時間、礼文島・  
香深港に 18:10 到着。  
民宿の手配で迎えに来たジャンボタク  
シーで民宿に向かう。途中、岬を過ぎる  
と海は荒れていた。

海の向こうには利尻島が見えている。



ジャンボタクシーの運ちゃんは、昨年  
「北のカナリアたち」のロケで訪れた吉  
永小百合の話で舞いあがり、宿を通り過  
ごしてしまった。  
やはり吉永小百合の魅力は凄い。  
写真は、本日お世話になる「民宿はまな  
す」、我々の泊まる 2 部屋はオーシャン  
フロントであった。



一風呂浴びて、6 時から夕飯の時間、残  
念ながら海が荒れていて漁に出られな  
かったとのこと、楽しみにしていたウニ  
(写真左下の小鉢) は僅かで、ウニ丼は  
無理。  
これが最後で明日は食卓には出ないそ  
うだ。



明日は、いよいよ花の礼文島、好天を祈  
り乾杯、  
午後 10 時には全員おとなしく就寝。